

今年もまた暑い夏がやってくる。と言っても天気予報のことではありません。

NPO法人プロジェクト2008が、8月28日(土)に総合文化会館で上演する劇『里帰り』のことです。この団体は、13年前に人権文化の花咲くまちづくりをめざして設立され、教育支援・啓発活動や人権啓発劇の上演に取り組んできました。2年前の夏には、ハンセン病問題をテーマとした『ふるさと』を上演しました。

この劇のフィナーレで、大島青松園に入所されている西条市出身のお二人が舞台上立つと、出演者と観客が一体となった「おかえりなさい」のコールが、会場いっぱいにも響きわたり、大ホールが熱い感動に包まれました。

今年の夏も、あの時の熱い感動がよみがえる舞台になるものと期待しています。

お二人は、昭和30年頃に病氣も完治し、今は「再び同じ過ちを繰り返してはならない」と啓発活動に取り組んでおられます。

去年の四国地区人権教育研究大会で、「私のふるさと

は67年間暮らしてきた大島青松園です。生まれたふるさと西条は、11歳の時に捨てました」と語られました。また、「ふるさととは、遠きにおいて想うもの」とも言われました。

皆さんは、この言葉をどのように受け止めますか。この言葉の裏に封印された「ふるさと」に胸張って帰りたい」という、無念の思いを感じるのには私だけでしょうか。

ハンセン病問題に対する私たちの無知・無関心が、偏見や差別を今日まで残し、ふるさとを捨てたと言わせてしまったのではないのでしょうか。

今、私たちができること、しなければならぬことは、お二人の本当の願いを真摯に受け止め、人権尊重のまちづくりを自らの課題とすることではないかと思えます。

今度の劇『里帰り』は、本当の里帰りとは何なのか、私たちに問いかけるものです。多くの皆さんに、ぜひとも観ていただきたいと思っています。

ありがとうございました

次の方々からご厚志をいただきました。心からお礼申し上げます。(順不同 敬称略)

■まごころ銀行へ

▽田中武雄(桑村)▽近藤浩次郎(国安)▽佐伯羊一(小松町大郷)▽村上記念病院▽国際ソロプチミスト西条▽西条西部地域交流センター木彫教室▽国興産業(株)▽三芳地区民生児童委員協議会

■養護老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子(下島山甲)▽散髪 伊藤泰博(明神木)▽散髪 伊澤郁見(明屋敷)▽新聞 芥川秀人(神拝甲)▽押し花指導 佐藤ミヨ(大町)▽現金・歌 西条校区婦人会

■養護老人ホーム石燧園へ

▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部▽プランターの花 石根小学校児童会

■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽歌 玉井キヨ子(小松町大頭)▽散髪 高橋弥生(楠)▽カレンダー作り コープえひめ福祉グループ▽誕生会・ハンドベル演奏 道前育成園▽プランターの花 石根小学校児童会▽半日喫茶 小松東保育所母親クラブ



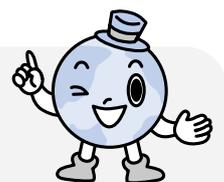
名誉市民・十河信二氏の遺品等が寄贈されました

十河信二記念館名誉館長の十河新作氏から、「新幹線生みの親」と呼ばれている十河信二氏の遺品等が市に寄贈されました。

寄贈品は西条図書館および十河信二記念館にて、順次公開する予定です。

エコドライブのススメ

アイドリングストップ



5秒以上停止する場合はアイドリングストップが有効というテスト結果があります。人を待つ間、ちょっとした買い物の間など、エンジンをかけっぱなしにしていますか？

信号待ちでアイドリングする場合も、ギアをN(ニュートラル)に入れるだけで燃料の消費が抑えられます。